

第8回教育・育成プログラム	
プログラム	アントラージュプログラム ～子どもとのコミュニケーション～
	講師: 粟木 一博氏 (仙台大学 教授)
日時: 平成29年9月3日(日) 会場: 朝明高等学校	

【プログラム】～子どもとのコミュニケーション～

今回はチームみえスーパージュニアに指定されている選手の保護者や指導者を対象に、子どもとのコミュニケーションの重要性について学びました。



①アントラージュ

アントラージュとは、選手に関わる人々のことを指します。家族、指導者、スポンサー企業、友人等たくさんの人が選手に関わっています。

②エゴグラムとコミュニケーション

TEG II という心理テストを行いました。結果により、様々なタイプに分類されます。まず自分を知ることから始めました。



③交流分析

エゴグラムの結果はコミュニケーションの参考となる交流分析に使われます。会話には子どもと同じ目線であったり、子どもに対して大人目線で答えてしまうなどの型があることを学びました。



④「大人」への道筋

母乳：産まれたばかりの赤ん坊は母親と接していくことで人間の信頼感を学びます。
排泄：成長する過程で自律し、我慢することを学びます。
あそび：遊びの中で、自主性を身に付けます。
勉強：努力は無駄ではないということを学びます。

⑤自己概念

人間はいろいろな体験の中で、私は〇〇だ、という自己概念ができていきます。成長していくと、あれもこれもこの時代から、あれかこれか取捨選択しなければならない時代になっていきます。人と話す、関わることで自己概念がたくさん増え、自分ができていきます。だからコミュニケーションが大切ということを知りました。





- ⑥単なる勝者ではなく真のチャンピオンを目指す
試合に勝つだけの単なる勝者ではなく、人間性や行動も伴った真のチャンピオンを目指すべきです。真のチャンピオンを目指すためにはアントラージュの協力が必要であるということ学びました。



- ⑦スポーツインテグリティ
インテグリティとは、誠実、真摯、高潔などの概念を表すものです。ドーピングや八百長など、スポーツを脅かす要素から選手を守るためにはアントラージュの関わりが重要であるということ学びました。